

授業科目名 (ナンバリングコード)	野外教育論特講		授業形態	講義	授業科目区分	基礎科目 (ｽﾎｰﾝ文化・社会科学)
担当教員名	坂口 俊哉			補助担当者名		
単位数	2 単位	履修年次	-		受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	野外教育研究やレジャー・レクリエーション研究の分野で扱われてきた研究トピックについて紹介する。それぞれのトピックが、野外教育の場でどのような重要性を持っているのか。また、研究目的と研究方法はマッチしているのか。批判的な立場から、国内外のジャーナルを中心に、先行研究のレビューを行っていく。最終的には野外教育の実践例を評価する作業を行う。					
成績評価の方法	■ 最終プレゼンテーション (20%) ■ 授業への取り組み状況 (40%) ■ レポート等の提出状況 (40%) を総合的に評価する。					
成績評価の基準	授業での発表内容、配布資料の作成内容などについて総合的に評価する。					
テキスト、教材 参考書	必要に応じてプリントを配布する。					
履修条件・ 関連科目	特になし		備考(教員メッ セージ含む)			
オフィス・アワー	随時。事前にメールでアポイントを取ることをお勧めします。 E-mail:tsakaguc@nifs-k.ac.jp					
授業計画						
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	坂口 俊哉	ガイダンス			野外教育関連雑誌のタイトルを確認、リストを作成して提出。(60分)	
2	〃	野外教育関連ジャーナルと論文			指定されたキーワードで検索しヒットした海外の研究論文をコピーしておくこと、アブストラクトの日本語化。(60分)	
3	〃	野外教育研究に関する文献抄読①			担当者発表①準備(120分)	
4	〃	野外教育研究に関する文献抄読②			担当者発表②準備(120分)	
5	〃	野外教育研究に関する文献抄読③			担当者発表③準備(120分)	
6	〃	野外教育研究に関する文献抄読④			担当者発表④準備(120分)	
7	〃	野外教育研究に関する文献抄読⑤			担当者発表⑤準備(120分)	
8	〃	野外教育研究の目的と方法①			野外教育の周辺領域において行われてきた先行研究の目的と方法についてまとめる(60分)	
9	〃	野外教育研究の目的と方法②			野外教育の周辺領域において行われてきた先行研究の目的と方法についてまとめる(60分)	
10	〃	野外教育研究の目的と方法③			野外教育の周辺領域において行われてきた先行研究の目的と方法についてまとめる(60分)	
11	〃	野外教育の企画と実践①			組織キャンプの実施例に関して情報を収集し企画内容を整理する。(60分)	
12	〃	野外教育の企画と実践②			組織キャンプの実施例に関して情報を収集し企画内容を整理する。(60分)	
13	〃	野外教育の企画と実践③			組織キャンプの実施例に関して情報を収集し企画内容を整理する。(60分)	
14	〃	野外教育の企画と実践④			アイスブレイク・プログラムの企画をまとめる(60分)	
15	〃	野外教育の企画と実践⑤			アイスブレイク・プログラムの評価基準をまとめる(60分)	
16	〃	実践例の評価レポートとプレゼンテーション			プレゼンテーションの準備(60分)	